

本学におけるノートパソコンの利用と 東京工科大学オリジナル推奨モデルのご案内

東京工科大学 八王子キャンパス

本学では、**メディア学部・応用生物学部・コンピュータサイエンス学部・工学部**（以下、「4学部」という）においてノートパソコンを必須とした講義、演習を行っています。また、学生生活においてもノートパソコンを活用しています。このような用途に適しているのは以下のような条件を満たすノートパソコンです。

ノートパソコンに求められる条件

- 軽量であること
 - 多くの授業で用いるため、ほぼ毎日、通学時に持ち運ぶ必要があります
 - 諸条件により異なりますが、おおよそ1.5kg 以下が適当と考えています
- 液晶ディスプレイのサイズと解像度が適当であること
 - 一部の講義・演習では学生本人と教育スタッフが一緒に画面を見ることもあります
 - おおよそ12インチ以上のサイズでないと見づらいと考えています。これは当人だけでなく、演習などの際に教育スタッフと一緒に画面を見るような状況も想定する必要があります
- 無線 LAN 接続ができること
 - 本学での学内 LAN への接続は、Wi-Fi による無線 LAN 接続となります。授業では、出席登録やレポート提出で学内 LAN を利用しますので、ノート PC での無線 LAN 接続が必要になります
 - 本学で接続可能な無線 LAN は802.11 a/b/g/n になります

そこで本学では、4学部の新入生および編入生に対し、講義・演習用に検討したノートパソコンの推奨をしています。推奨するノートパソコン（以下、推奨ノートパソコン）は上記の条件を満たす機種を複数のメーカーの機種から選定し、表 1 の機種となりました。

表 1 2025年度 推奨ノートパソコンの仕様

メーカー		エムエスアイコンピュータージャパン株式会社
機種名		Prestige 13 A13M 東京工科大学オリジナルモデル
仕様	CPU	Core i5- 1334U (13世代 CPU)
	メモリ	16GB
	SSD	512 GB
	ディスプレイ	13.3型 WUXGA(1920×1200) タッチ機能なし
	ネットワーク	Wi-Fi 6E(11ax)、Bluetooth 5.2
	OS	Windows 11 Pro
	バッテリー	最大10時間(JEITA 3.0 動画再生時) / 最大20時間(JEITA 3.0 アイドル時)
	ポート	USB3.2 Gen2 Type-A×1 Thunderbolt 4 Type-C(USB PD 対応)×2
	重量	990g

既に所有しているノートパソコンを利用する場合

既に所有しているノートパソコンを利用しようと考えている場合、1ページ記載の[「表1 2025年度東京工科大学オリジナル推奨モデルの仕様」](#)と同等以上の性能のノートパソコンが必要となります。

仕様が大きく異なる場合には、講義、演習の際に支障が出る恐れがありますので、下記の「推奨ノートパソコンを購入しない場合」を必ずご参照ください。また、3ページからの[【よくある質問事項】](#)も併せてお読みください。

【重要】有隣堂 PC サポートサービスについて（ **全員の入会必須** ）

本学は、有隣堂 PC サポートセンターと連携し、大学内でのノートパソコン利用時の故障や使用方法等、様々な問題の相談窓口を運営しております。4学部の学生の皆様が円滑に大学生活を送ることができるよう本学の推奨ノートパソコンを購入される方、既にお持ちのノートパソコンを利用される方に関わらず、有隣堂 PC サポートサービスへの入会を必須としています。ご入学前に入会手続きを完了していただく必要がありますので、下表2024年度有隣堂 PC サポートサービス内容ならびに別添の「**ノート PC に関する有隣堂からのご案内**」を併せてご一読ください。

表2 2025年度 有隣堂 PC サポートサービスの内容

内容	有隣堂 PC サポートセンターでは、以下のサービスを受けられます。 ◆ 推奨ノートパソコンの修理受付 (非推奨ノートパソコンをお使いの方は、ご相談を受付けます) ◆ パソコン故障、修理時の代替機の貸し出し ◆ パソコン不調時の原因特定や操作に困った時の相談やアドバイス ◆ 初期状態への復旧などのサービス ◆ その他、大学と連携してソフトのインストールサービス
サポート 料金	1 年次新入生（4 年間サポート）： 14,300円（税込） 2 年次編入生（3 年間サポート）： 10,725円（税込） 3 年次編入生（2 年間サポート）： 7,150円（税込）

大学ご入学後のノートパソコン活用に向けて

ノートパソコンは講義、演習、実験、その他の日常生活の様々な局面で利用します。これらの具体的な内容は、文書閲覧・作成、情報収集・出席確認・レポート提出のためのインターネットアクセスなどです。授業は原則として Windows 環境を前提として行います。

現在、日常的にパソコンに触れる機会がないか、ごく少ない場合には、家庭で所有しているパソコンや学校・図書館で使えるパソコンなどで慣れておくことを推奨します。特にキーボードからの入力（タイピング）についてはその速度がパソコンを用いた学習効率に直結するので、事前にトレーニングをしておくといでしょう。タイピング練習ソフトウェアを使う、あるいは紙の上でアルファベットのキー配置を覚えるだけでも大きな効果が期待できます。。

また、新型コロナウイルスの感染拡大状況によってはオンライン講義に切り替わることも考えられます。ご自宅にネットワーク環境がないと、授業動画の視聴や Web 会議システムへの接続、メールの送受信、講義サポートシステム（Moodle 等）を介しての課題提出等に大きな支障をきたすことがあります。そのため、有線・無線問わず、ネットワーク環境を有していることが必要になります。リモート講義を快適に受講するために、高速な大容量データ通信が行え、かつ、安定した接続が必要です。ポケット Wi-Fi といった通信速度やデータ容量に制限のある環境では、授業音声が届かなかったり、画面が正しく表示されない場合があるため推奨しません。

推奨ノートパソコンを購入しない場合

1.4 学部共通の注意事項

どの学部でもノートパソコンを使う授業では Windows 10または11がノートパソコンにインストールされていることを前提にしています。ただし、必要スペックを満たしていれば、本学とマイクロソフト社との契約に基づいて、Windows および Office のインストールが可能ですので、別途購入する必要はありません（この場合、事前に Windows 10または 11がインストール可能で画面解像度の変更やネットワークの利用が可能かどうか確認してください。また、インストールによりノートパソコン内にある全てのデータが消失してもよい状態にしておいてください）。この他に、本学の学生は、大学が契約しているアンチウイルスソフトを無償でインストールして使用できます。

これらのソフトウェアの他に、学部学科や履修科目によってはソフトウェアのインストールが必要となる場合があります。授業資料の保存や作業のための容量も合わせて考えると、50GB 程度の空き容量が目安になります。PC のスペックとしては全体で256GB 程度のディスク容量を持つ PC が良いでしょう。電源コンセント数が少ない教室もあるため、PC のバッテリーは1回の授業時間は持つ性能があると安心です。

2. コンピュータサイエンス学部固有の注意事項

コンピュータサイエンス学部では、CPU に負担をかけたり、メモリを多く使用したりするような処理を行うことがあります。快適な状態で PC を操作するためには、推奨ノートパソコンと同等以上の性能を持ったパソコンが望ましいです。大学の授業では、パソコンにメモリが16GB 以上搭載されていることを想定しています。8GB 以下のメモリ搭載パソコンを使用する場合は、在学中必要になったときにメモリ増設が可能な機種が望ましいです。

コンピュータサイエンス学部の授業は東京工科大学オリジナル推奨モデルに準じたノート PC（Windows）の使用を想定しています。Apple MacBook を使用される場合、授業で対応できない場合があることをご理解ください。

よくある質問事項

Q. タブレット（キーボード付き Windows タブレット）と呼ばれるノートパソコンが推奨ノートパソコンよりも安く市販されていますが、これらのタブレットを使うことはできないのでしょうか？

A. 現在、タブレットとして市販されている PC の多くは、その処理能力が推奨ノートパソコンよりも劣るものになっているのでお薦めしません。また、安価なタブレットの多くは液晶ディスプレイサイズが8～10インチ程度です。演習等の授業では様々なソフトウェアを使うことや、教育スタッフと画面を一緒に見ることがあります。よって、12インチ程度かそれ以上ないとこれらが困難になり、教育に支障が出る場合があります。自己責任において使用する場合、キーボード付き Windows タブレット PC にしてください。

Q. 既にノートパソコンを持っているのですが、これでも大丈夫でしょうか？

A. どのようなノートパソコンでも「これで絶対大丈夫！」という保証はできません。推奨ノートパソコンの仕様をご覧になって参考にしてください。学部により利用するソフトウェアに違いがありますので、一概にこれは大丈夫、あれは駄目とは言えません。

Q. 古いバージョンの Windows ノートパソコンを持っているのですが、これでは講義に差し支えありますか？

A. 4学部の講義では Windows 10または 11を前提に行いますので、講義のために Windows 10または11に加え、もともとノートパソコンに入っている OS（Mac 用 OS あるいは古い Windows）の操作、設定にかなり精通していないと対応が困難であると考えられます。Apple 製のノート PC を利用する場合、Windows をインストールしてあっても実験実習等でトラブルが起こる可能性があります。その場合、大学では対応できませんのでその時だけ別の PC を用意するなど自身で対処する必要があります。

Q. Mac パソコンで授業は受けられますか？

A. Windows 以外のパソコンの場合、入学する学部によって状況は異なりますが、上の Q&A にもある通り、操作、設定にかなり精通していないと対応が困難であると考えられます。なお、Apple 製のノート PC を利用する場合、学校と Microsoft 社の契約により、在学中に限り Windows OS を無償で利用できますので、Windows OS のライセンスを新たに購入する必要はありません。

Apple M1 チップ以降搭載の MacBook で Windows OS をご利用になる場合は、Parallels Desktop（有料ソフト）を利用することで Windows を利用することができますので、Parallels Desktop を使用して事前に Windows OS のインストールを済ませておいてください。Windows OS のライセンス認証はガイダンス内で行います。

Q. 別のノートパソコンを事前に購入しようと思っているのですが、問題ありませんか？

A. 入学する学部によって状況は異なりますので、【推奨ノートパソコンを購入しない場合】をよく読んで検討してください。

Q. 事前にソフトウェアを購入して勉強をしたいと思っているのですが、何を購入したらよいのでしょうか？

A. 必要なソフトウェアのほとんどについては本学では、学生が無償で利用可能となるようにいくつかのソフトウェア会社と利用契約を結んでおり、また学生が利用できる環境を用意しているのでソフトウェアの購入は必要ありません。ただし、タイピングに不慣れな場合にはタイピング練習ソフトウェアで練習することは事前学習として効果が高いかもしれません。

本件に関するお問い合わせ先：

東京工科大学 事務局学務課

電話：042-637-2113

Mail：jm-hcgakumu@stf.teu.ac.jp

取扱時間： 9 時 00 分～17 時 00 分（月～金）